

当協会主催後継者支援プログラム参加者「株式会社マルキ建設」 堀貴紀氏が第4回「アツギ甲子園」で経済産業大臣賞を受賞

京都信用保証協会（理事長：山内 修一）が主催する事業承継支援プログラム「京都府北部アツギベンチャー道場」の参加者、株式会社マルキ建設（京都府京丹後市）の堀貴紀氏が、令和6年3月8日に開催された中小企業庁主催の第4回「アツギ甲子園」で、最優秀賞の経済産業大臣賞を受賞されました。

「アツギ甲子園」とは、全国の中小企業の後継者・後継者候補が既存の経営資源を生かした新事業アイデアを競うピッチイベントです。4回目となる今回は、全国から211名の後継者がエントリーし、5か所の地方大会を勝ち進んだ15名が決勝大会に出場しました。

今回、受賞した堀氏の新事業アイデアは、「公共残土で地域と食卓を豊かに」。荒廃農地の増加と違法に処理された公共残土を起因とした土砂災害の解決策として、公共残土を活用して荒廃農地を整備。その農地で稲作を行い、収穫した米から地域活性化につながる商材として米粉を生産するサステナブルなビジネスプランであることが評価されました。

当協会は、京都府内地域ごと（京都府北部地域、中部地域、市域、南部地域）に自治体や金融機関、事業承継を経験した地元後継者等と連携を図り、地域に寄り添った後継者支援を実施しています。

京都府北部地域においては、少子高齢化、事業所数の減少が顕著な地域であり、また、新型コロナウイルス感染拡大により、中小企業者が既存事業に大きな打撃を受けていたことから、当協会では、事業承継は「後継者が新たなビジネスモデルを創出しながら承継していく取組み」と捉え、自治体や金融機関等と連携の下、後継者支援に取り組んでいます。

堀氏は、家業を活かした新事業開発を目的とした後継者支援プログラム「京都府北部アツギベンチャー道場」（共催：公益財団法人京都産業21）への参加を契機に「アツギ甲子園」の出場を決意。当協会は、本プログラムの企画・運営を担う株式会社ローカルフラッグ（京都府与謝野町）の濱田代表や府北部の経営者、金融機関等と連携し、堀氏の新事業プランの磨き上げを行いました。

また、大会出場前に地域金融機関である京都北都信用金庫とともに、自治体、中小企業支援機関や商工団体等と連携を図り「リハーサル」を実施するなど「地域を担う後継者の成長が地域の発展に寄与する」といった共通認識のもと地域で後継者支援のエコシステムを構築しています。

当協会は、今後とも京都府内中小企業者の後継者・後継者候補の挑戦を後押しし、地域経済の発展に寄与してまいります。

受賞先の概要

企業名	株式会社マルキ建設
代表者	代表取締役 堀 紀博
所在地	京都府京丹後市大宮町周枳 1868 番地
設立	昭和 60 年 12 月 12 日

